

ミールプランへの加入が大学生の欠食に及ぼす影響の分析

要旨

大学生の欠食に対応するべく大学生協はミールプラン制度を運用している。しかし、ミールプランと欠食の関係は明らかになっていない。そこで、本研究ではミールプランへの加入が大学生の欠食に及ぼす影響を分析した。第58回学生生活実態調査、大学情報サイト「マナビジョン」、令和2年国勢調査を用い、ミールプランが学生の食事摂取に及ぼす効果を推定した。ただし、ミールプランが任意加入であるために生じるセレクションバイアスに対処するべく、操作変数法による推定を行った。推定の結果、ミールプラン加入は1日3食以上の食事をとることに有意な正の効果をもたらしており、欠食を減少させていることが明らかとなった。また、ミールプラン加入によって食事をとる学生が有意に増加している時間帯と有意に減少している時間帯の双方が存在した。これは、生協食堂の営業時間を背景として、ミールプランが適切な食習慣の形成にも寄与している可能性を示唆する。
